

9.8 地盤

9.8.1 調査

(1) 調査内容

供用後のごみ処理施設のプラント用水等は、上水を用い、地下水の揚水を行わないことから、地盤沈下への影響はないと考えられるが、地盤の現況把握として、以下の項目について調査した。

(a) 地盤沈下の状況

地盤沈下の範囲及び沈下量を調査した。

(b) 地形・地質の状況

粘土層、シルト層等の収縮層及び軟弱地盤の分布状況を調査した。

(c) 地下水の状況

地下水位及びその変動状況、地下水に係る地質構造等を調査した。

(d) その他の予測・評価に必要な事項

揚水量等の地下水利用状況、土地利用状況等を調査した。

(2) 調査方法

調査は、既存資料の収集及び現地調査により行った。

(a) 既存資料調査

地盤沈下の範囲及び沈下量については、埼玉県地盤沈下調査報告書等の資料を整理した。地形・地質の状況については、地形分類図、表層地質図等の資料を整理した。

なお、地下水の状況については、前述の「9.6 水象」における調査結果を利用する。

(b) 現地調査

地質の状況(収縮層及び軟弱地盤の分布状況)については、地下水観測井設置時のボーリング調査により把握した。

(3) 調査地域・地点

(a) 既存資料調査

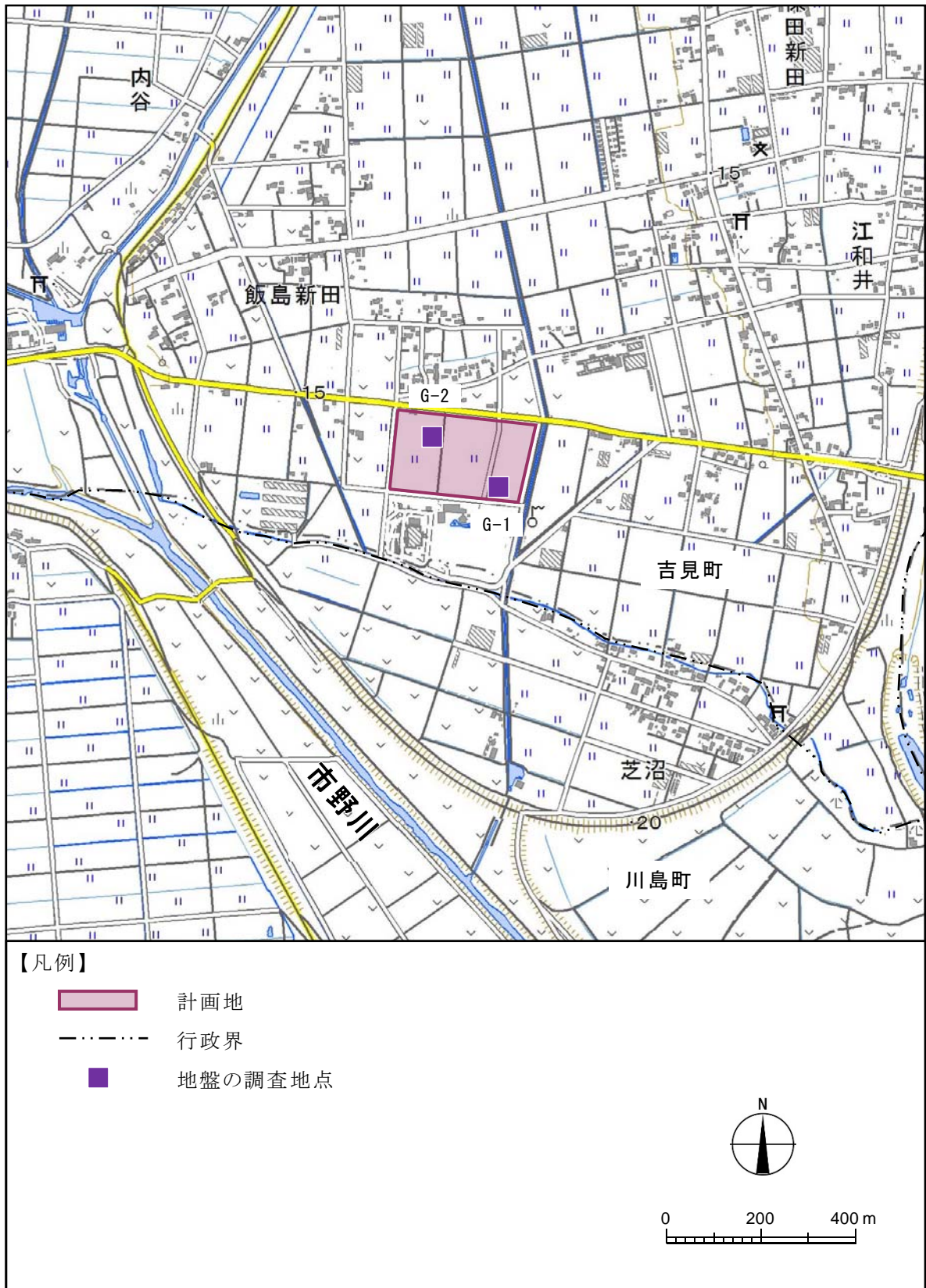
地盤沈下の範囲及び沈下量、地形・地物の状況の調査地域は、計画地周辺とした。

(b) 現地調査

地質の状況の調査地域は計画地周辺とし、調査地点は表 9.8-1 及び図 9.8-1 に示すとおり、地下水位の調査地点と同様、計画地内の北西側及び南東側の 2 地点とした。

表 9.8-1 地盤の調査地点(現地調査)

調査項目	調査地点	
地下水の水位	G-1	計画地内南東(現駐車場)
	G-2	計画地内北西(現休耕地)



資料) 国土地理院 1/25,000 地形図

図 9.8-1 地盤の現地調査地点図

(4) 調査期間・頻度

(a) 既存資料調査

地盤沈下の範囲及び沈下量については、最新年から過去5年間分とした。

(b) 現地調査

地下水観測井設置時のボーリング調査にて1回行った。

ボーリングは、平成29年6月15日～6月24日で実施した。

(5) 調査結果

(a) 河川等の流量、流速及び水位

(ア) 既存資料調査

i) 地盤沈下の状況等

地盤沈下については、「第 3 章 地域特性、3.2 自然的状況、3.2.3 土壌及び地盤の状況」に示すとおりであり、地形・地質の状況は、「第 3 章 地域特性、3.2 自然的状況、3.2.4 地形及び地質の状況」に示すとおりであり、地下水の利用状況「第 3 章 地域特性、3.1 社会的状況、3.1.3 河川及び湖沼の利用並びに地下水の利用状況」に示すとおりである。

(イ) 現地調査

i) 地質の状況

現地調査結果は、図 9.8-2～図 9.8-4 に示すとおりである。

地下 13～14m 付近まで、粘土層及びシルト層がほとんどを占めている。

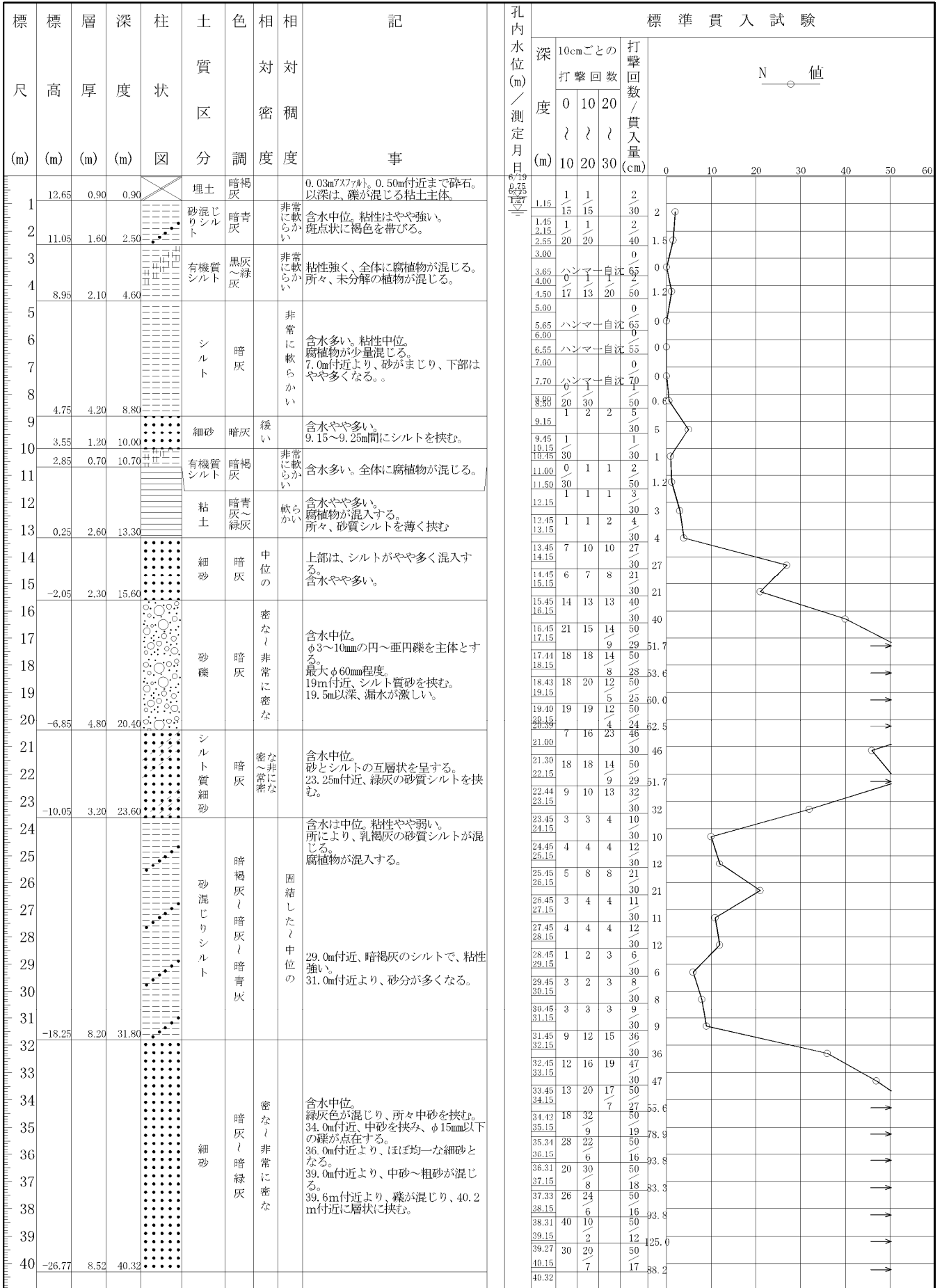


図 9.8-2 地盤調査結果(G-1 柱状図)

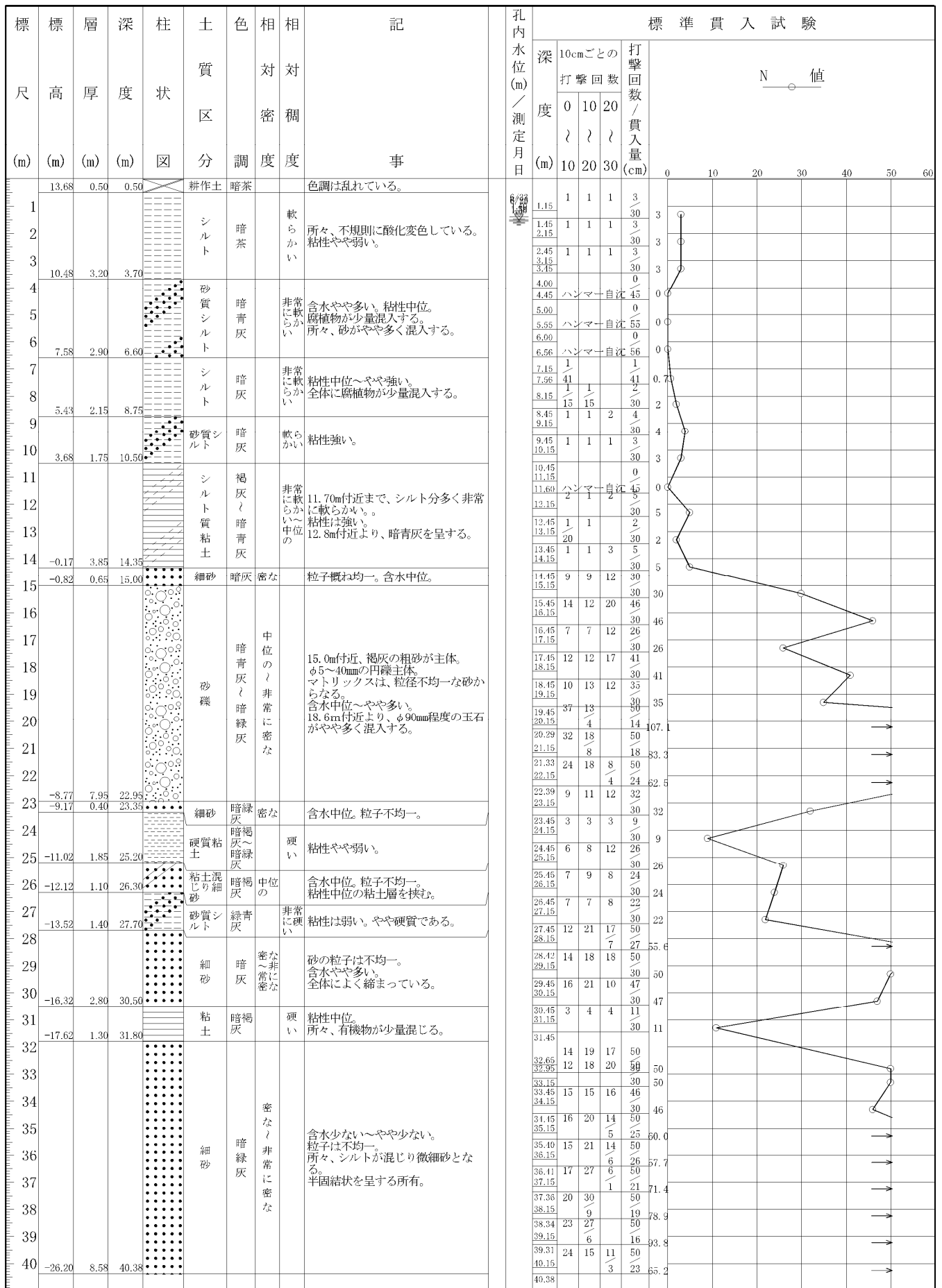


図 9.8-3 地盤調査結果 (G-2 柱状図)

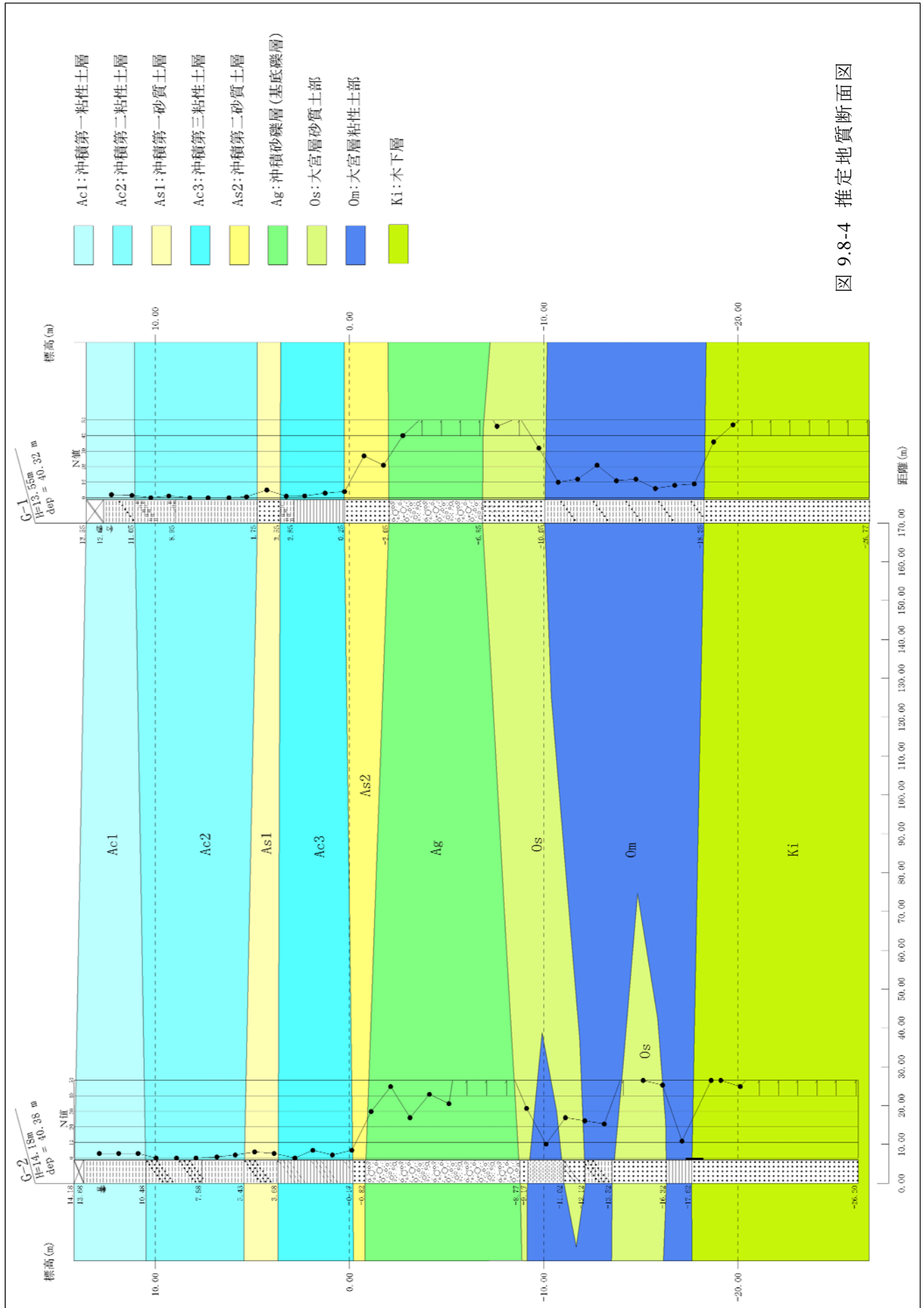


図 9.8-4 推定地質断面図